

2008年4月1日

関係者各位

世界学生環境サミット実行委員会
委員長 片山 傳生
(同志社大学工学部教授 副学長)

「世界学生環境サミット in 京都」への協賛について (お願い)

拝啓

平素は、本学の教育、研究に多大なるご支援を賜りありがとうございます。

今、世界は民族、宗教、思想の違いなどによる争いに加えて、地球環境の破壊による危機的な状況にも見舞われています。

そこで、本年6月、本学の学生たちが、このような地球規模の環境破壊の問題に関して、G8の国々の大学及び中国、インドなどの発展途上国の大学に学ぶ学生たちを京都に招致し、地球市民の立場から議論を展開する「世界学生環境サミット in 京都」の開催を企画いたしました。

本学は、近年、学内外の省エネ、温室効果ガス排出削減などの環境問題にも積極的に取り組んでおり、このたびの学生たちの企画に対しても全面的な支援を行っていく所存です。

1875年(明治8年)、新島襄によって設立された同志社大学は、その設立の経緯からも開学当初から国際主義を教育理念の一環として掲げてまいりました。

世界学生環境サミットにおいて、世界の学生たちが「京都議定書」締結の地である京都で一同に会し、環境という共通のプラットフォームのもとで議論を行うことは、本学の国際主義教育の視点からも大いに意義があるものといえます。

本サミットでは、「環境とエネルギー技術」、「環境と持続可能な社会」を主なテーマとして、世界各国の学生たちが活発な議論を展開し、未来へのメッセージを発信いたします。

つきましては、このような次世代を担う世界の学生たちの熱い想いに対しまして、いつも環境問題に対する深いご理解を示され、企業経営を行っておられる御社からのご協賛をいただければ大変光栄に存じます。

事情ご賢察のうえ、ご支援、ご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。

敬具

世界学生環境サミットへのご協賛の内容は下記のとおりです。ご不明な点などがございましたら実行委員会事務局までお問合せください。

記

1. 企画内容

1) 別紙、「世界学生環境サミット in 京都」企画書のとおり

2. ご協賛について

【協賛金(寄付金)】

1) 法人協賛金 金額 任意

個人協賛金 金額 一口 1万円 (一口未満の寄付もありがたくお受けします)

2) 協賛金(寄付金)は、減免税措置(税制上の優遇措置)を受けることはできませんので、予めご了承ください。

3) 振込口座

南都銀行京田辺支店(普通) 0316325

世界学生環境サミット in 京都 委員長 片山傳生

【サミット推進へのご支援】

1) サミットへのご参加(アドバイザー等)

協賛企業として、学生たちへの支援をお願いいたします。テーマに対するアドバイス、情報提供、勉強会への参加など

2) 全体会、分科会の支援スタッフとしてのご参加、議事傍聴、交流会参加など

3. その他

1) 協賛企業のメリット

本サミットは、毎日新聞大阪本社との共催により、開催日を含めて、全国に情報発信をしております。協賛企業のお名前は、本サミットポスター、新聞、テレビ、ホームページなどご紹介させていただきます。

2) 世界トップ大学の学生たちとの交流

スタンフォード大学をはじめ世界11カ国からトップクラスの大学の学生が参集し、日ごろの研究成果を踏まえて発表します。協賛企業さまのビジネスチャンスにつながる機会にもなります。

お問合せ 世界学生環境サミット実行委員会事務局

〒610-0394

京田辺市多々羅都谷 1-3

同志社大学情報メディア館・同志社ローム記念館302

Tel. 0774-65-7851・7852 FAX 0774-65-7853

URL:<http://st-summit.doshisha.ac.jp>

e-mail:summitky@mail.doshisha.ac.jp

以上